



五月の空 ワッショイ

五月三日は恒例の豊龍まつり。少年はやし隊の笛や太鼓のリズムにのって、大獅子、小獅子が町内をねり歩きます。
やがて「ワッショイノワッショイノ」と元気な子供みこしの声が、五月の空にひびき渡ります。今年の豊作を祈り、安全を願うこの祭りは、みんなの汗と熱意で大きく盛り上がりました。

●今月の内容●

●町政すばつと	2
●カメラルポ	6
●満開のりんご園で	10
●みんなの教育	12
●育てようノスポーツ少年団	14
●町民のひろば・情報室	14

若者定住みんなの力で

広報 のあさひ

No.306
'82
5/15

若者定住みんなの力で

始めよう一人一組仲人運動

「活力ある町」は、産業がさかんで豊かなことだけでなく、若者がたくさん住み活気に満ちあふれていることが条件といえます。

わが町では、企業誘致や農業の基盤整備、道路網の整備をすすめ、定住条件はかなり満たされてきたものの、嫁の来手、婿の来手がないといった悩みが最近多く聞かれ、今後の町づくりのためにも大きな課題となっています。

そこで今月は、若者定住問題、結婚問題を取りあげてみようと思います。

若者定住に 町民会議

昨年の百人討論会では、「結婚問題はわが町最大の課題」、振興対策審議会でも「若者定住に町あげての取り組みを」との呼びかけを受けて、今年三月「若者定住対策町民会議（小林富蔵議長）」が発足しました。

これは、区長会や農協、商工会など町内のあらゆる機関や団体が、それぞれの立場で若者を定住させるために力を出し合おうとスタートしたものです。

この会議の中で特に意見が集中したのは結婚問題で

これをもっとも深刻な課題として取り上げ、町民みんなで取り組もうと

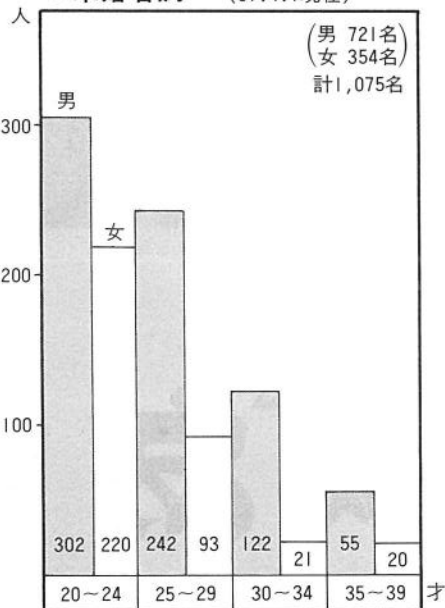
①若者を定着させるための運動の展開

②ひとり一組仲人運動の展開

の二つの共通目標を設定しています。

結婚問題は何年も前から言われてきました。町では昭和五十一年四月に結婚相談員制度を発足させその解消のために力を入れていますが、相談件数が多い割にゴールインに結びつくケースは少なく、相談員の方々の苦勞の割に実効があらがないのが実態のようです。

*未婚者調べ (57.4.1現在)



未婚青年の 実態

ところで、結婚適齢期である青年男女の実態はどうなっているのだろうか。手元にある資料によって少し探ってみようと思います。

右のグラフは、町内に在住する二十歳から三十九歳までの未婚者の実態です。

これを見ると、二十歳から二十四歳までは、男子の数が女子の数の差がそれほどないのに、二十五歳を過ぎると女子の数が極端に減っていることがわかります。全体では、男子が七二

一名、女子が三五四名で、男子が女子の二倍以上と単純に比較して、絶対的に女子が少ない現状です。

この中には、籍は町にあって実際は町外の学校等へ入っているという人や、婿養子をもって家を継ぐという三割近くの女子も含まれますので、さらに狭き門となるわけです。

なぜ、このように若い女性の数が少ないのか、婿養子になってもらえる二、三男がいなかったのかということですが、これにはいろんな原因が考えられますが、その一つに、近くに安定した職

あすへの ステップ



場が少ないということがあげられます。
学校卒業後、町内に就職した若者はことしの場合たった二十名程度で、ほとんどが町外や県外に就職している現状です。

町外といっても、家から通勤している人も多いわけですが、二、三男や女子が圧倒的に少ないことは確かです。

さらにもう一つは、住んでいる私たち自身の問題です。将来この町や部落をどう活気に満ちた住みよいものにしていくのか、明日の担い手である後継者をどう育てていくのか、といったことをみんなで考えなければなりません。私たち自身が地域に愛着をもち、魅力ある町づくりに取り組んでいかなければ、後継者も育たないことは当然です。

また、結婚問題は個人のことで、と片づけてしまえばそれまでですが、これは町の将来につながる問題であって、個人はもちろんのこと、地域や町全体の問題として取り組まなければならないと思います。

若い力を郷土に定着させる手だてはないのか。
みんなで考えなければならぬ課題だ。

適齢期を 考えて

さて、これまで百組近くの結婚をまとめたという大谷四の五十嵐祐太さん（70歳）を訪ずれ、嫁不足の問題について伺いました。

——長い間仲人をされてきて、いまの結婚難について感じられることは？

五十嵐 「二十代に結婚の話をもちかけられた場合、



五十嵐祐太さん

少し気に入らないことわかってしまう人がいますが、自分の手前も考えてみなさい、と言いたいですね。両親が結婚に賛成しても当の本人が拒否するというケースが多いようです。そしてそういう人に限って、三十歳を過ぎるとどんな人でもいいと言うが、なかなかた

いへんになるようです。

自分が十点だと思っても、相手が七点なら応じざるがらの気持ちがいいですね」

——若い人の結婚観は変わっているんでしょうか。

五十嵐 「女性の意志がはっきりしているのは事実ですが、勤めもしたいということからか、最近はおしゅうとさんのいる家庭がいい、という人もふえているようです」

——結婚問題の打開策はどんなところにあるのでしょうか。

五十嵐 「女性は都会へ就職する人が多く、町に残る人が少ないことは確かですが、適令期には縁談の一つ二つはあると思います。その時に真剣に考えてみるとだと思えます。それに近頃の恋愛結婚では、町外や県外の人と一緒にいる人も目立ちます。狭い範囲でなく、これからは特に、大きな視野で結婚問題を考える時代になるのではないかと考えています」

女性の 定住条件を

次に、結婚相談員として活躍されている、本町の鈴木庄右エ門さん(57歳)に相談員活動を通しての苦労話などを伺ってみました。

「日頃の活動を通して感じておられることをお話し下さい。」



鈴木庄右エ門さん

鈴木「これまで仲人もかなりやってきましたが、最近

とくに嫁不足、婿不足がすすんでいるように感じられます。昔仲人をする場合わらじ八足と言われたが、現在では十五足もいるほど、いまの仲人はたいへんだと思います。

農家に娘がいても、農家にはやれないと言いい、やがて自分の息子に嫁をもらう

時になって、来てくれる人がいなくて困る、といったことがよくありますね。

また、どこそこの家の息子に嫁さんがきまりそうだと聞くと、そこの家の悪口を言って歩き、まとまりかけた縁談がこわれると、陰で喜んでいるような人もたまに見かけますが、こんなことは絶対やめてもらいたいと思います」

「まったくそうですね。ところで、若い女性の数がひじょうに少ない状況ですが、どうすればいいでしょうか。」

鈴木「男なら町外へ通勤するということもできますが女性はそのような不安定した女子型企業を誘致すべきだと思います。たとえばNECやグンゼのような大きな会社がくれば、女子も町に残るようになるのではないだろうか。また、山形・朝日線の整備を急ぎ、山形市のベッドタウン的性格としての町づくりも考えられます」

結婚問題を解消するた

めにはどんな手だてが必要でしょうか。

鈴木「自分の力で女性を引っばってくる、ということはもちろんですが、地域によって問題のない所もありやはり、地域の協力や思いやりがほしいと思います」

広域的な 交流を

次に、青年の立場から松程の鈴木保志さん(24歳)に伺ってみました。

「最近の嫁不足についてどう思っていますか？」

鈴木(保)「農家だから嫁



鈴木 保志さん

をもらえない、ということが聞かれますが、決してそういうことではないと思っています。本人しだいということはもちろん、新しい感覚で安定した農業を築け

朝日町結婚相談員

氏 名	部落名	電話番号
志 藤 喜 一	本 町	7-2092
鈴木 庄右エ門	本 町	7-2398
村 山 重 男	本 町	7-2031
海 野 多 門	送 橋	7-7230
大 滝 伸 之	下 芦 沢	7-7225
佐 藤 七 郎	宇 津 野	7-2148
長 岡 源	常 盤	7-2729
松 田 正 蔵	長 沼	7-7077
布施五郎左衛門	松 程	7-3327
長 岡 正 二	大 谷 5	8-2035
白 田 辰 雄	大 谷 5	8-2092
佐久間 源 七	栗 木 沢	8-2467
白 田 藤 真	大 沼	8-2868

お気軽にご相談ください。

ば、嫁の来手ぐらいはあると思います」

「町内に住む若い女性が少ないわけですが、その辺の問題については？」

鈴木(保)「大型の女子向け企業を誘致することも必要ですが、女性がいない、少ない……とばかりいえないで、町外や県外の青年との広域的な交流を今後積極的にすすめていくべきだろうと思います」

「若者にとってこの町は魅力がありませんか？」

鈴木(保)「活気がない、という面でははっきり言って魅力は感じられないな。だ

最後に、昨年青森の弘前から嫁いできた大隅の菅井信子さん(25歳)に、嫁さんの立場から意見を伺ってみました。

「遠く青森からこの町へ嫁いで来るきっかけとなっ

人生観を しっかりと

けど本当は、車社会で行動範囲が広がっているからこの町の良さがわからなくなっているのかも知れません。もう一度郷土を見直してみることが必要でしょうね」

「はたち」はこう考える

* 成人式のアンケートより

4月25日に開催された成人式で、実行委員が該当者を対象にアンケート調査を行いました。

その中から主なものをひろってみたいと思います。

(単位%)

● 成人式の時期について		男	女
① 1月15日(成人の日)		8	4
② 4月(今までと同じ)		46	36
③ 5月の連休		11	8
④ 夏の方がよい		35	44
⑤ その他		0	8
● 朝日町に住みたいか		男	女
① はい		73	38
② いいえ		27	62
・「はい」の理由			
① 後継ぎのため		43	31
② 環境が良いから		18	8
③ 仕事の関係で		11	0
④ 都会の生活は合わない		14	15
⑤ 地元で結婚したい		11	23
⑥ その他		3	23
・「いいえ」の理由			
① 職場がない		62	25
② 交通の便が悪い		38	30
③ 娯楽施設が少ない		0	5
④ その他		0	40
● 町に望むこと		男	女
① 娯楽施設がほしい		37	33
② 魅力ある職場 //		15	24
③ 観光開発をすべき		17	15
④ スポーツ・学習施設がほしい		15	15
⑤ 福祉・医療面の充実		9	11
⑥ その他		7	2
● 結婚したい年齢は		男	女
① 21~22歳		7	35
② 23~24		52	35
③ 25~26		31	27
④ 27~30		10	3
● 今、異性と交際しているか		男	女
① している		41	37
② していない		59	63

たのはどんなことですか？
菅井「彼が青森のりんご学校にいた頃の友人が、二年前の五月の連休に、りんごの花粉をもらいに山形の和合へ行くというので、たまたま私もついてきてこちらで知り合ったのが主人です。それがきっかけで、彼の農業に対するひたむきな情熱を感じ結婚を決めたわけです。」

私の家は農家でなく、高校を卒業するまで農業のことは全然わからなかったの

— この町の嫁不足問題についてどう思いますか。
菅井「農業を意欲的に情熱を持ってやっている人なら



菅井 信子さん

ですが、社会に出ると青年学級へ入り農業青年と接し

ば、嫁さんが来ないということはないと思います。ただ仕事だけでなく、自分の人生観をちゃんと持つことでしょうね。
また、時代が変わっているのも、昔からの良い点は残すことも必要でしょうが新しくするものはどんどん変えていくべきだと思います。
なんといっても、大自然の中で彼と一緒にりんご作りができるなんて、最高のしあわせです」

「活力ある町」めざして

以上四人の方からいろいろ意見を出していただきました。

企業の誘致、山形・朝日線の整備促進、安定した生活基盤づくり、地域の協力などの問題が提起されました。その中で、もっとも大切なのは、やはり本人の積極性としっかりした人生観、生活基盤の確立ではないかと思われます。

さらに、若者定住と結婚問題は、親の姿勢がどうであるかにも大きくかわってきます。家庭教育はもとより、学校や地域も連携を取りあって新たな活路を見い出すことが必要でしょう。町内のあらゆる機関も団体も、それぞれの立場でこの問題を少しでも解決し、「活力ある町」づくりを町民みんなですすめよう。

明るくゆとりある学び舎に!

送橋小学校

新校舎の建設はじまる

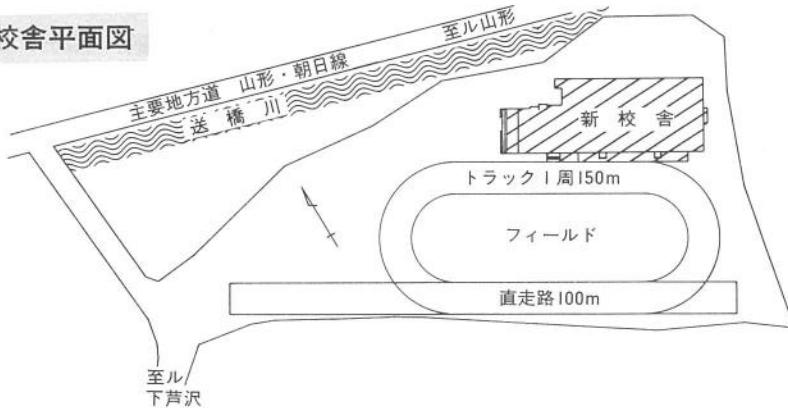
新校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、建築床面積は一階が六五八平方メートル、二階が六九三平方メートル、三階は六五四平方メートルの計画です。設計の特徴としては、狭い敷地を考慮して校舎三階に体育館を位置づけたということです。従って階下の教室への振動をふせぐためフロアのクッションを取り入れています。体育館は約

敷地考へ 体育館を三階に

送橋小(鈴木久夫校長、児童数三十四名)の創立は明治九年八月、すでに百年以上も経過しているため校舎の老朽化が進み、改築が急がれていたもの。現在敷地造成工事が着々とすすめられており、まもなく校舎建設が始まるうとしています。

老朽校舎の改築に着手して四年目。去年の上郷小に引き続き、ことしは送橋小学校の改築が計画されています。

送橋小校舎平面図



ことしの 新区長きまる

町と各部落とを結ぶパイプ役として大切な役割を担っている区長さんの新年度のメンバーがつぎのようにきまりました。

区名	氏名	新任再任
本町	豊嶋武(新)	
西町	鈴木与三郎(再)	
栄町	佐藤四郎(再)	
助町	海野富太郎(再)	
大元	海野敬次郎(再)	
西前	原安孫雄(新)	
新ノ沢	宿熊小次郎(再)	
	相座力雄(再)	

小原	菅井	善藏	(再)	太郎	二	相	座	孝	太	(再)
宿沼	向	平	(再)	太郎	三	大	井	勝	雄	(新)
沼平	隅	大	(再)	石	部	長	岡	重	次	(再)
大古	旗	古	(再)	立	木	阿	部	市	兵	(再)
送下	橋	送	(再)	白	倉	渡	辺	寅	雄	(再)
水杉	本	山	(再)	松	程	阿	部	勝	志	(再)
松宇	山	原	(再)	大	木	鈴	木	吾	郎	(再)
津野	本	野	(再)	今	平	白	田	亦	一郎	(再)
大	高	橋	(再)	大	一	佐	々	都	三	(再)
雪	鈴	木	(再)	大	二	木	田	欽	喜	(再)
常	安	藤	(再)	大	三	白	田	千	代	(再)
夏	佐	竹	(再)	大	四	渡	辺	仁	蔵	(再)
長	柴	田	(再)	大	五	白	田	金	之	(再)
西	長	岡	(再)	大	六	大	谷	文	太	(再)
八	斎	藤	(再)	大	七	堀	谷	俊	男	(再)
能	松	田	(再)	中	沢	五十	嵐	正	雄	(再)
高	小	関	(再)	真	中	庄	田	善	利	(再)
太郎	宮	本	(再)	舟	渡	五十	嵐	利	昭	(再)
	志	藤	(再)	栗	通	遠	藤	昭	二	(再)
	伊	淵	(再)	川	海	志	野	新	造	(再)
	長	岡	(再)	大	沼	東	林			

五〇〇平方メートルの広さで、バレーボールができるほか、剣道に向いたフロア仕上げがなされます。

また屋上はほぼ平らですが、冬期間雪が積もっても積雪二メートルまで降ろさなくともよい、雪に強い設計になっています。

十二月いつぱいで 完成の見込み

給食は宮小や上郷小と同様、全校生が一緒に昼食が

新広報委員が誕生

委員長に多田秀雄氏

町づくりの課題や茶の間の声を積極的にとりあげ、親しまれる広報紙づくりをめざしている町広報委員会の委員が改選され、四月十九日の広報委員会の席上委嘱状が手渡されました。

委員長に多田秀雄氏が再選されたほか、編集委員が選ばれるなど任期二年間の体制が決まりました。

新委員は次のとおり。

▽委員長 多田秀雄(本町)

とれるランチルーム方式を採用。各教室にもゆとりと開放感を充分とり入れる計画です。また体育館が、社会体育にも活用されることから、専用の入口と階段を設置します。工事費は、敷地造成工事が六、二五〇万円、校舎建設費が約三億円。五月中旬に着工し十二月末に完成。来年一月からは明るいモダンな新校舎で伸び伸びと勉強できることになります。

▽副委員長 堀重雄(元町)

▽阿部美喜男(企画課長)

▽編集委員 長岡幸助(高田)

▽安藤茂雄(松原)

▽木かつ子(松程)

▽吉(朝日中) 堀義三郎

▽舟渡 成原孝一(役場)

▽委員 浅井重弥(本町)

▽志藤良男(大谷一)

▽鈴木 紀(大谷四)

▽安藤昭郎

▽渡辺良明(大谷二)

▽滝川 清一(本町)

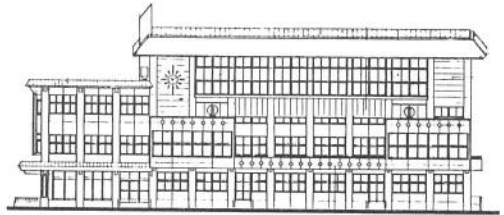
▽田川順一

▽八ッ沼 鈴木正則(以下役場)

▽池田伸一、阿部

▽洋一、長岡信悦、佐藤伸寛、長岡茂

南側立面図



△事務局/阿部晃士、大井守▽

教育広報委員も

きまると

また、身近な教育問題を取りあげている「みんなの教育」の編集にあたる教育広報委員には次の方々が委嘱されました。

▽委員長 菅井憲太郎(沼向)

▽副委員長 柳寿太

▽大谷一

▽委員 菅井

▽進(沼向) 松田俊子(太郎

▽二) 今野優(宮小) 真木吉

▽雄(和合小) 鈴木八寿子

▽本町) 阿部康子(常盤)

大地の恵みを あなたへ

「朝日町自然の友協会」が発足

「都会に住む人々にみちのくの香りを届けよう」とこのほど町と農協の肝入りで「自然の友協会」が発足しました。

これは、西船渡の若月俊行さんら七名が、朝日町で四季折々にとれるくだものや山菜、ワインなどを、日頃ふるさとの香りを味わうことの少ない都会の人々に送り届けようと始めたもので、いま関東周辺の町出身者へパンフレットを送り、会員を募集しています。

■申込み方法

所定の振替用紙で会費を

お送りください。会費を受理するとただちに「朝日町自然の友協会」の会員券を送ります。ただし会員になれるのは、宅急便翌日配達区域だけとします。

△申込み先 朝日町農協 西五百川支所 電話 7-2131V

■本年度コース別メニュー

▽ひめさゆりコース(二万五千元) 六月上旬 〓 わらび、あいこ、しどけ、うるい、うど等 六月下旬 〓 ふき、みずな、山竹の子、さくらんぼ、みそ 九月 〓 あけび、きのこ、りんご(つがる)、栗など 十一月 〓 りんご(ふじ) ワイン、ぜんまい等

▽しゃくなげコース(三万五千元) ひめさゆりコースに加え 十二月 〓 干柿、やまのいも、つけもの、もち、たなごめ等が送られる。





本番さながらの火災防ぎょ訓練

きびきびと消防演習

消防功労者

152名, 16団体を表彰

ことしの春季消防演習は四月二十二日、朝日中グラウンドに四七〇名の団員のほか大勢の来賓を迎えて行われました。小型ポンプ、自動車ポンプ操作のあと、初めて設置された積載自動車ポンプや以前使われた手引ポンプの操作を披露。そのあと婦人消防クラブ高田班が団員と同様見事な小型ポンプ操作を行い、さかな拍手が送られました。小・中隊訓練や火災防ぎょ訓練、分列行進のあと役場前広場で表彰式が行われ、功労者など一五二名、十六団体が表彰されました。

(表彰一部略)

●消防長官表彰

▽永年勤続退団(15年以上)

元部長 佐藤昭三、阿部昌雄、佐竹昇、小林幸雄
元班長 長岡健一、長岡勇治、元団員 土屋克見、松田典、阿部良一

●県知事表彰

▽金条章 第一分団第四部

▽特別功労章 第一分団副分団長 柴田彰亮

▽功労章 本部付副分団長 木村恵一、一の四部長海野和博、一の五〇岡崎浩一、二の二〇鈴木克幸、二の二〇阿部雅一、三の二〇鈴木功助、三の五〇堀茂

▽功績章 一の一部長鈴木修一、一の二〇熊谷保勝一の三〇佐藤吉徳、一の六〇柴田一男、二の三〇阿部圓利、二の四〇長岡啓治、二の五〇佐竹光喜二の六〇佐藤幸信、三の一〇小野昇一郎、三の三〇小林貞一郎

▽精練章 一の二先任班長安藤清一、一の四〇渡辺健一、一の五〇渡辺秀雄一の六〇村山史郎、二の四〇佐竹邦彦、三の一〇志藤盛男、一の一班長花山忠夫、一の三〇鈴木兼夫、二の一〇長岡栄、二の二〇長岡清志、二の三〇佐竹瑛二、二の五〇阿部和夫、二の六〇小松敬三の二〇阿部満弘、三の三〇小林直広、三の四〇佐久間進、三の五〇川村喜美雄

▽永年勤続退団(20年以上)

東京連絡事務所だより No.6

「ふるさと公演」に協力ありがとう

さくら前線が「ふるさと」へと駆け足で去った今、東京の街路樹は一斉に息を吹き返すかの様に若葉が美しく躍動を始め、いよいよさわやかな季節となりました。

ふるさとへの始発駅上野の地下も、今は東北新幹線の終着駅となって生れ変わるため、日夜着々と工事が進められています。現場を横目に駅構内の広場には、大きな看板「紅花の山形路」がたくさんの花笠に囲まれて旅立つ人々を見送っています。

族連れでにぎわっていました。しかしそれも精々三時頃まで、いつもより早い夕暮れでした。

そこで今朝五月一日(土)は空の玄関羽田空港に足を向けてみました。朝七時というのにあの大駐車場は満車、待つ車二十分。思った通りロビーは若者のグループ旅行が大半を占めて熱気ムンムン。しかしここでは家族連れはわずか数組しか見る事が出来なかった。

そしていよいよ今夕十一時新宿を出発、ふるさとに向います。

そんな中でそれぞれに待望?のゴールデンウィークを迎えたわけですが、やはり今年の一般的な不景気と一致してか、行楽地の初日は何処もいつもの休日と変わらぬ人出とか。そこで私も子どもとカメラをお共にぶらり上野まで一歩き。

やっぱり歩行者天国は人、人……遠出を避けた家

朝日町東京連絡事務所初めての企画である「ふるさと公演」。所長と共に全所員で頑張ってきました。もちろん朝日町の皆様方の温かい応援には、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

とにかくゼロからの出発故どんな形で残るか不安ばかりです。しかし今回に限らず、あらゆる面において



ワイン塾

②ワインの種類

ワインの種類は、醸造法のちがいによって大きく4つに分けられます。

■スティル・ワイン（非発泡性ワイン）

テーブルワインともいい、ぶどう果汁に酵母を加えて発酵させたもので、食事と共に供されるごく一般的なワインです。赤、白、ロゼがあり、味わいも甘口から辛口までさまざまで、単にワインというときは、このスティル・ワインをさします。

■スパークリング・ワイン（発泡性ワイン）

一度発酵の終わったワインに、糖分を加えて第二次発酵をおこさせ、炭酸ガスをワインの内にとじ込めたもので、グラスに注ぐと軽やかな泡が無数にあらわれるワイン。フランスのシャンパンがその代表的なものです。

■フォーティファイド・ワイン（酒精強化ワイン）

果汁が発酵している途中で、ブランデーなどを添加して発酵をとめた、アルコール度数の強い甘口のワイン。スペイン、ポルトガルのシェリー、ポートがその代表的なものです。

■アロマティック・ワイン（混成ワイン）

ワインに香辛料や薬葉・柑橘類の果汁を加えたワインで、イタリア、スペインのヴェルモット、サングリアなどがその代表的なものです。

〈ワインの分類〉

- ワインの分類
1. スティル・ワイン（非発泡性ワイン）
赤、白、ロゼ、アルコール9～14%
 2. スパークリング・ワイン（発泡性ワイン）
赤、白、ロゼ、アルコール9～14%
 3. フォーティファイド・ワイン（酒精強化ワイン）
赤、褐色、白、アルコール20%前後
 4. アロマティック・ワイン（混成ワイン）
赤、白、ロゼ、アルコール17～20%

●県消防協会長表彰

▽優良消防団員 熊谷貞則
佐藤正敏、渡辺 薫、田

●日本消防協会長表彰

▽功績章 第二分団長 佐竹九郎、本部付分団長 吉田一夫
▽精績章 第二分団副分団長 長岡清士

●西村山支部長表彰

▽優良消防部 二の三
▽火災現場功労者

川順一、樋口良悦、白田茂夫、村山則雄、志藤政利、五十嵐勉、今井仁志
▽永年勤続 35年/団長 阿部憲一郎 25年/第二分団副分団長 長岡清士 20年/一の五部 長岡崎浩一 15年/白田雄一、佐藤幸信、小川澄夫、小林英俊

●町長表彰

本町 鈴木清一郎
▽一般協力団体 宇津野自衛消防隊
▽優良消防部 ①二の三 ②一の四 ③三の三
▽内助の功労者 第二副分団長 夫人長岡フミ子
▽無火災部落 石須部（167年）太郎二（63年）大舟木（50年）沼向（40年）大谷三（29年）宿（27年）
▽一般協力団体 大谷長岡モータース、大沼子供会



取材し、挑戦し、東京連絡事務所がますます皆様方に近づけるよう努力して参ります。
(池田政季記)





りんご園で

第1回 ワインまつり

若葉薫る春の一日。真夏日を思わせるほどの好天のもと、去る五月八日第一回朝日町「ワインまつり」が和合で行われました。周りには満開になったりんごの花が咲き「りんごとワインの里」にふさわしい会場となり、町内外から訪れた二百名の参加者でにぎわいました。



◀冷蔵保管のりんごに訪ずれた人もおもわず「あらおいしそう!」



▲カラオケで自慢の「のど」を披露



▲盛会なまつりを祝し万才

▼帰りにはワインをみやげに満足そう





「りんごとワインの里」

満開の

▲ウーン！どれが朝日町ワインかな？

▼美人のお酌で飲み放題とはうれしいね



育てよう! スポーツ少年団

「たくましい体と心」をめざして

現在、朝日町には剣道、柔道、バドミントン、スキー、バスケットボールの5種目、7つのスポーツ少年団があります。

今回は、自分たちで自主的に活動しているこれらの少年団を紹介し、その意義を探ってみたいと思います。



わたくしたちは
一、健康なからだを心を養
い、次代を担うりっぱな
人間になります。

一、ルールを守り他人に迷
惑をかけず、進んで奉仕
する社会人になります。

一、スポーツの中で友情と
協力と歓びを学び、限り
なく伸びる自分の力を作
り出すため努力します。

この綱領のとおり、スポ
ーツ少年団の目的は、単に
運動する。技術を磨くので
はなく、友情の環を大きく
広げ、限りなく伸びるから
だと心を育てることにあり
ます。

和合バスケット ボール少年団

はじめに結成してちょう
ど一年になる和合バスケッ
トボール少年団を紹介して
みましょう。

●おいたち

三カ月のミニバスケット

ボール教室終了後、スポー
ツ少年団結成にあたって
は、少ない児童数や夜間の
活動ということで、その成
果に疑問もありました。し
かし児童の頑張りや父兄の
協力、指導者の熱意によ
り、ついにその誕生をみま
した。

だが、当時の団員は男女
あわせて十七名だけ。だれ
もがその前途を心配したも
のでした。

●うれしい初勝利

地道に練習を重ね
て三カ月。山形地区
大会に、試合の人数
に足りないところ
特別了解を得、初出場
することができまし
た。

男子。初戦は大規
模校の強豪チーム。
やはり相手にならな
い。惨敗。

次は地元中山チー
ム。これも層の厚い
伝統ある少年団。第
一、第二クォーター



山形地区大会で健闘する和合バスケット少年団

は善戦しリード。相手に焦
りが出てくる。しかし後半
になり和合に疲れが見えて
きた。相手と違い交替する
選手がいらないのだ。最終ク
ォーター、中山は総力を上
げてばん回をねらってき
た。足が動かない。心死の
まじり。この時ほど子ど
もの頑張り頼もしく思っ
たことはない。

リードのままついに終了
のホイッスルが響いた。勝
った。よくやった!

以後団員も徐々に増え、
現在では三十二名になりま

●朝日町のスポーツ少年団活動

スポーツ少年団名	結成年	登録 団員数	登録指 導者数	主な活動場所	付 記
(スポーツ少年団) 大 谷 剣 道	S 41年	27	4	大谷小体育館	町内で最も早く結成され、現在は朝日中学校生徒で構成。女子団体が昨年県大会で優勝している。
大谷ジュニア剣道	S 46年	44	5	大谷小体育館	46年に大谷剣道から独立、大谷小児童を対象に活動。県内でも強豪で、毎年水戸全国大会に出場している。
送 橋 剣 道	S 52年	18	5	送橋小体育館	送橋小児童を対象に発足。小規模校ながら地区一丸となって育成しており、郡・県大会でも活躍している。
朝日町バドミントン	S 54年	15	4	町民体育館	宮宿小児童を主体に毎週火曜日に活動。山形地区で唯一のバドミントン少年団である。
朝 日 町 ス キ ー	S 54年	45	3	町民スキー場	町内の小・中学校から参加。活動は主に冬期間で、毎年、1級・2級検定に多数の合格者を出している。
朝 日 町 柔 道	S 56年	19	3	町民武道館	宮宿小児童を主体に毎週日曜日、早朝活動している。今年から対外交流を計画している。
和合バスケットボール	S 56年	32	9	和合小体育館	

した。試合の方も男子が山形地区大会で準優勝、女子が西村山大会で見事優勝するなど力強いチームになっていました。

●確かな成長

この一年夢中で活動してきましたが、団員たちは技術や体力だけでなく、いろんな面でたくましく変身しているように感じます。練習があるためにテレビを見る時間が減り、宿題も家に帰るとすぐやるようになってきました。

指導者は技術以上に規律、精神面の成長を重んじ、彼らもそれに応え、対外試合や、時にはきびしい練習の中で、チームワークの大切さ、すばらしさを身をもって知ることができたのです。

「運動がうまくなれば勉強もできるくなる。」を言葉に、団員、指導者、父兄が一体となり頑張っています。

地域ぐるみで 育成しよう

朝日町の少年団には、それぞれ父兄や地域の方々が構成している母集団といわれる後援会があります。母集団は大きな負担となっている指導者の仕事を軽減し、資金面やより活動しやすい場の提供など全体的な運営という役割を担っています。

母集団の方々も団員といっしょにスポーツを始めたというほほえましい話題も聞かれますが、親と子、地



スキー少年団も充実してきた

域の人々との交流が一層深まり、より有意義なものになるでしょう。

つまり団員、指導者、母集団の三つの歯車ががっちりかみ合ってこそすばらしいスポーツ少年団活動になるのです。

町にはスポーツ少年団本部があり、少年団育成の拠点として普及振興に力を入れています。そして少年団の数も少しずつ増え、今年新たに二つの少年団が結成される予定です。

第47回山形国体が決定し、少年団に対する期待がいろんな意味で高まってきました。充実した活動を推進する中で、ぜひ技術レベルの向上も図っていききたいものです。

そして最初に掲げた目的をめざしながら、将来を背負って立つ少年たちだれもが気軽に参加できるスポーツ少年団を、地域ぐるみで育てていこうではありませんか。

△編集／教育広報委員会▽

前田沢でチューリップの「五つ子」咲く

前田沢の今井幸雄さんの庭で、一本の茎に赤い五つの花がついたチューリップが咲きました。

今井さんは、毎年チューリップの球根をいったん掘り起こして秋に埋め戻しています。五つの子を咲けたのは今年が初めて。草丈は三〇センチほどで、花はふつうのものより小さめです。

この珍しい狂い咲きに今井さんはびっくり、「来年はどうなるか楽しみです」と語っています。



町民のひろば



●意見・話題をお寄せ下さい。—広報係—

ふるさとに唄う 阿部徳二郎氏ら町出身者



町民の声援で盛り上がったふるさと公演

昨年十月発足した朝日町東京連絡事務所が初めて企画した「ふるさと公演」が、五月二日町民体育館で盛大に開かれました。

これは、東京朝日会と朝日町民とのつながりを深めようと、町出身の演歌歌手阿部徳二郎さん始め尺八の矢下勇蔵さん、民謡の白田鴻秋さんが来町し「歌謡民謡ショウ」を公演しようと、町内の各種団体の協力

を得て開催されたもの。

前日の夜四十五名を乗せて東京を出発したバスは、この日の早朝町に到着。高令者センターで休憩したあと、午後一時から開演となりました。

会場は一、六〇〇人の町民で満員。最初に小林町長、海野実行委員長の歓迎のあいさつがあったあと、大井東京連絡事務所長が「これを機会に町出身者とのつながりを深めてほしい」とあいさつ。ショウに入り、次々と出される民謡や演歌に、大きな拍手が送られ、出演者と町民の心ふれあう公演となりました。

大人をみつめる 子どもの目

ミーちゃんは四年生です。こんなに、肩まで垂れた髪がサラサラと光ります。顔がちがブクツとしてきました。ジーパンの好きなあまえんぼさんです。そのミーちゃん、おもしろいことを語ってくれました。

おじゃましま〜す

No. 2

知らせたいこと、言いたいことあつたらデンワ下さい。ウカがいます。☎8-2424 7-3436

ければしょうゆをたしなさい、ひとの作ってくれたものに文句をいわないこと、といひます。

でもなぜ、ごはんがかたいねといったら、水が少したりなかったんだね、おつゆがしょっぱいな

といったらみそを入れたんだねといわないのでしよう

フンフン、なるほどねえおばあちゃん、の気持ち、ペテランとしてのメソツもわかります。

子供は、人間らしさを身につければつけるほど非人間的なことに容赦はしません。子供の澄んだ目は身のまわりの中から、主として大人たちにむかって、こうした瞬間のシャッターを切るのです。

曇りない目で私たちの見えないうつらさを見、驚きを見し、何かを引き出そうとしているのです。(K子)



「まだまだ先のことと思
ってましたが、ずいぶん早
く二十歳がきてしまった」
このたびの成人式では実

ははたけ 若人



「成人式をむかえての感
想？あまりピンとこない
な。二十歳——これで大人
の仲間入り、という感覚の

人は少ないのでは」

四月二十五日の成人

式で実行委員長をつと
めた彼は、二十歳の彼
ら自身にとって有意義

な式にしようと二カ月

も前から、委員たちと

一緒に毎晩のように知

恵をしぼり合った。そして、

記念文集づくりやアンケ

ー調査、当日の祝賀会など

『青春を完全燃焼させたい』

本町 長岡 和 浩 さん

●ミス・ミスターはたち

『とにかく楽しい毎日です』

大谷 一 桜 井 千代美 さん

行委員として活躍、日頃交
流の少ない西部、中部地区
の人と友だちになったこと
が一番の収穫になった。

高校卒業後すぐ青年

団に入り色々な活動に

参加しているが「とに

かく楽しい毎日、青春

を謳歌しているってい

う感じです」という。

「職場では年上の人が

ユニークなアイデアで式を
盛り上げた。今後の抱負と
しては、青年団活動で若者

の定住問題などを掘り下げ
て考えてみたいという。

「仕事でも何でも、燃え

上がるものがあれば、なん

でもできる」を信条にする

フレッシュマンだ。

（趣味はIVY「洋服のク

ラブ」本町で食堂手伝い）

多く、娘みたいに面倒みて
もらってたけど、これからは
大人として一人立ちした
い」と張り切る。

理想の男性は「仕事にま

じめで、自分の考えをしっ

かり持っている人」。彼い

る？「ウーン。想像にまか

せます」というミス20歳。

（趣味はバドミントン、書

道、茶道。日東食品勤務）

晴やかに成人式

*150名が大人の仲間入り

桜花満開となった四月二
十五日、恒例の成人式が中
央公民館で行われました。
ことしの出席者は一五〇
名。まず小林町長が「活力
ある町づくりは、若い諸君
の気迫ひとつにある」と激
励。成人を代表して長岡和
浩さんと桜井千代美さんが
「これからは大人としての
自覚と責任を」と誓いのこ
とばを述べました。

式典のあと、江馬成也宮
城教育大教授が「21世紀を
担う青年に期待するもの」
と題して講演。実行委員会
が企画した祝賀会では「朝
日町ワイン」で乾杯し、ゲ
ームや合唱などでふん囲気
を盛り上げました。



もう大人、お酒も堂々と



和服姿で華やかな式場



“はたちの献血”、緊張する一瞬

ぼくたちの住んでいる朝日町は、もっと近代化していてもいいでしょう。けれども、高層ビルや大工場などは建設されなくともすばらしい町に変えられると思います。

あまりむずかしい事ではありません。何十年後なんていう夢ではないことです。それは、道路をきちんと整備して、両側に木か花を植えるのです。これは町内全部の道路を舗装することです。農村地帯はいいというのではなくて、木や花を植えてかざりつけることで、町中がバツと明るく輝くでしょう。山だけで自然はいっぱいだと言うかもしれませんが、道路の両側にいろんな色の花が咲いていて、太陽の日差しをあびてほほえんでいるなんてすばらしい光景だと思います。木なんかでは、桜とかいろんな木を植えて、緑色の葉や黄色になった葉、オレンジ色の葉などが、そよ風に吹かれて、車を通る人や歩道を歩く人、ジョギングを

する人などにおじぎをするようなことがあったらいいなと思います。

花がほほえむとか木の葉がおじぎをするなんて空想かもしれないが、自然を愛する人にならそう見えてくるものです。朝日町住民には、そんな心があるかも……いやきつとあるだろうとぼくは思っています。だから、町中を花や木でいっ

広報三〇〇号記念作文コンクール入選一席(中学生の部)

朝日町の将来の夢

朝日中学校二年 小林 勇一郎

ばいにして輝かせたら夢のようです。

冬、道路に雪が積もると少し困ります。こんなことがなくなつてほしいです。いくら自動車のタイヤにチェーンをしても、いつスリップするかわからないのです。交通事故がいつおこるかもしれない。だから、少し雪が積もってもすぐ消えるような道路の設計にしたいと思っています。道

路に雪が積もらなければ自転車も乗れると思います。少しぐらい寒くても、中学生の自転車通学の人たちが楽に学校へこれるかもしれない。

ある一定の大きな道路だけでなく、農村地帯の山村へ通じる道も、雪が積もってもすぐに消えてしまふ道路になったら、冬の交通も不便でなくなると思いま

す。冬の積雪対策に困らない町になっていてほしいです。

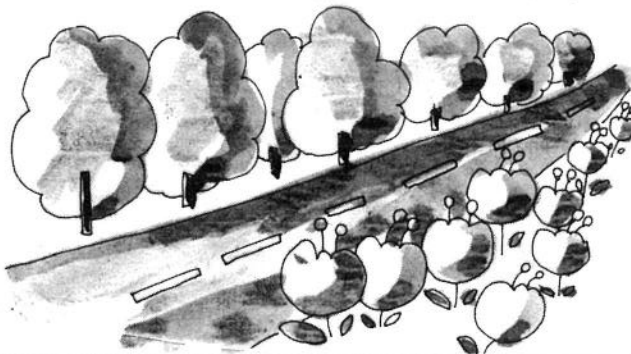
河川の汚れない環境にめぐまれた町に。町内を流れる最上川や朝日川などはあまりきれいだとは言えないでしょう。その他の川でも同じ事が言えます。誰もが美しい川だというのは、程遠すぎるでしょう。川のほとりに空きかんやビンールのくず、発泡スチロ

ールなどたくさん落ちています。川底に沈んでいるビンや鉄くずが数えきれない程たくさんあるのです。これらのゴミは、わたしたち朝日町住民の中のだれかが捨てたものなのです。魚たちも住めなくなつてしまつていきます。こんな事では、将来の朝日町はどうなつてしまふでしょう。あらかゆる川は、ゴミの集荷場と化するでしょ

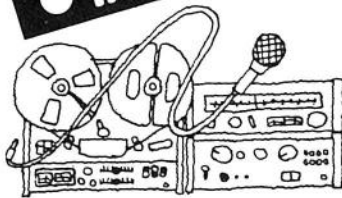
う。そんな事では、立派な町づくりはできないでしょう。自分たちがまいた種は自分たちで、ひろわなければ、誰もひろつてはくれないのです。将来の朝日町内の川にはゴミ一つない美しい所に。いつまでもゴミがあると朝日町のイメージを悪くするし、将来の発展には結びつかないでしょう。

数年後の朝日町は、新たに生まれ変わり、どここの町の人からみても、

「なんて、すばらしいんだろう。子供から大人、老人までが一体となって町の発展につくしている」なんて言われるような町になつてもらいたいです。町に誇りを持つ人々、すみきつた心の持ち主がたくさんいる町に。人と人があいさつで結ばれるような町になる事が夢だ。



●情報室



* 商業統計調査にご協力を

通産省では、6月1日現在で商業統計調査を実施します。この調査は販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業・小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

この調査の結果は、市町村で

の商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進めるうえで重要な基礎資料として活用されます。また各商店が経営指針を作る際にも広く役立っています。

統計調査員が伺いましたら正確な申告にご協力下さい。

* 求人あんない

●(株)朝日観光 ☎ 7-2424

業務拡張のためタクシー

乗務員を募集

▷ 2種免許/未経験可、35歳まで

▷ 1種免許/経験3年以上、30歳まで

▷ 人員/若干名、社会保険完備
くわしくは当社まで

* 第4回町長杯争奪少年剣道大会成績

(4/29, 北部体育館)

☆小学男子 ①柴田仁(大谷小)

②川村哲也(左沢小) ③白岩義信(〃), 白井充(大谷小)

☆小学女子 ①白田美代(大谷小)

③清野尚美(送橋小) ③渡辺かおり(〃), 鈴木晴美(左沢小)

☆中学男子 ①遠藤智義(朝日中)

②佐藤和之(陵南中) ③阿部真司(朝日中), 鈴木泰生(〃)

☆中学女子 ①清野由美(朝日中)

②安藤弘美(〃) ③川村靖子(〃), 阿部由美子(〃)



五月の空はくまなくはれて新緑かおる横軸を六根清浄唱えつつ朝日権現目ざしたる道者の群は今いずこ。今よみがえる白倉の石楠花の花陽に映えて熊野神社の春まつり。ふるさとの家なつかしく山菜の味おふくの味。立木より溪流に沿うて登ること約二・五錢、葉たばこと山菜の宝庫、スキーのメッカ白倉に着く、戸数二九戸のたたずまいである。苔むしたる参道を登り村社熊野神社の社頭にぬかずく。神鈴谷間にひびき相手は緑間にこだまする。ご神体は総高約二三錢の陶製の神像である。本陣の奥に棟札があり、「享保十乙巳霜月十二日奉請敬熊野三所大権現 別当 不動院」

「十年程前、神社の大改修をした時三、四枚の棟札が発見されたが、全部処理してしまった。今思えば大変残念なことをした。白倉の地名もそれには白鞍村と書いてあった……」と。さて、熊野三所大権現だが紀州熊野の三所権現のことである。三所とは本宮、新宮、那智であり、本宮にはけつみこの大神、新宮に

の曹洞宗光源寺である。これについて阿部多良氏は語る。

「十年程前、神社の大改修をした時三、四枚の棟札が発見されたが、全部処理してしまった。今思えば大変残念なことをした。白倉の地名もそれには白鞍村と書いてあった……」と。

さて、熊野三所大権現だが紀州熊野の三所権現のことである。三所とは本宮、新宮、那智であり、本宮にはけつみこの大神、新宮に

白倉 『熊野神社』

修験の坊にて、清水善作の家であった。光源寺は立木

移官入神官 光源寺 白倉村田代 同惣村中」とある。「請け奉りて敬う……」とある故享保十年(一七二五)は熊野神社創建の年と見てよいだろう。すると今を去る二五七年前の創建となる。別当不動院は白倉にあった朝日山天台

ははやたまの神を祭り那智にはふすみの神をそれぞれ祭っている。

熊野三山の修験道は本山派といつて天台修験でありその行は最も厳しいものであった。例祭は旧三月十五日盛大に催され八月三十一日の夜は恒例の風神祭が行われる。

お堂内には貴重な懸額があり「奉納、阿部源剛、明治二九年申正月元旦」と添え書きされ、絵は

中国二四孝の一場面である。画家は柴橋村金谷原出身の濤月亭蝶二であり、書道にも堪能な人であった。新崩斎藤吉雄氏は濤月亭の四代目の孫である。奉納者阿部源剛は、白倉阿部勝蔵氏の祖父にあたる。(文/広報委員長岡幸助)





一昨年と今年、天皇誕生日、年十二回の祝日で国民が一日で国民が一番喜んで国旗を掲揚する日を選び、国旗掲揚の状況を調べてみました。

まず午前八時宮宿商店街を見ると四〇軒以上立てられていたようです。深沢、中郷、金谷地区では五本、寒河江では八幡神社前に一本、駅前から警察署までの目抜き通りでは一本も見られず、警察署にも立っていません。立って下さい」とお願いしたい気持ちでいっぱいでした。

戻り足となり左沢小学校前通りに十本、新装なった大江派出所には大きな旗が立っていました。藤田には四本見え、大谷地区では剣道大会もあるせいか一五軒位立っていたようですが、明鏡荘は今年も不掲揚でした。和合地区は鯉のぼりだ

二市三町の国旗掲揚調査を顧みて

は軒並三本見ただけ。国道沿線にたった三本とは、一九、一九名の人口を保有する白鷹町はあまりにも情けない。

次に長井市東五十川から国道を南進すると、泉地区にたった一本。今泉T字路から引返し長井駅前繁華街

では寒河江同様見つかりません。いや発見できないのです。旗を立てれば、あの家庭は右翼だ、馬鹿とか言われるのだろうか。

昭和五十年三月二十一日の春分の日、新宿から五反田まで車で三十分走ったが国旗は三本目についたた

て心で亡ぶ」と外国では日本の将来を予想しています。こんな日本に誰がした、蜜蜂や蟻にも劣るエゴ日本。天皇制、教育勅語、国旗国歌、家族制度等々、日本の美点は破壊されたが、占領政策は七年間で打ち消され、自由主義国家として世

界から認められて三十年を経過したのです。「日本国民よ、原点に帰れ」と大声で叫びたい。しかし、幸いなるかな我が朝日町の国旗掲揚率の良さは何よりの誇りです。県下四十四市町村の第一番になりたいものです。それは何も金のかかる作業でもなく、国を愛し、県を愛し、町を自分を愛する事なのです。平和な我が町なればそれは不可能ではないはず。ダム祭りも今回のふるさと公演も、各種団体が蜜蜂精神を発揮してこそ何事も順調に進むのでしょう。町民のみならず、県下一国旗の立つ町を造りましょう。(松程・白川千代雄)

ふるさとへの便り

12

ふるさと朝日町がもう少し東京に近かったら、としばしば思います。気軽に帰省できることもさることながら、私たち都会に住む者と、町の人たちとの交流の場をつくる、という夢が実現できるからです。

その夢の一つは、テニス仲間と出かけて行き、町営のテニス・コートと民宿を利用してもらい、町の人たちと共にテニスに興じ、かつ飲み、談じ合うことです。

次に適当なキャンプ場があれば、現在関係しているボーイ・スカウトを連れて行き、町の小・中学生と共に野営を行い、大自然の中

手づくり看板を設置

新崩子ども会

住みよい町づくりは明るい家庭から——と常盤地区が家庭の日推進地区の指定を受けて二年目。このほど新崩子ども会では、自分たちの手で何かをやろうと、会員が協力し合って手づく





根としてのふるさと

石黒武夫

《東京都港区南青山4-17-6》

で少年たちの交流を図ることです。

さらに、適当な演奏家に依頼して「あさひ音楽祭」を開き、町と都会の音楽愛好家が一緒に室内楽や管弦楽を楽しむことです。なおこの音楽祭と「ワイン祭り」ないし「リンゴ祭り」を同時開催できれば最高です。こうした触れ合いを通して、町の人も都会の人も精神的に豊かになり、ひいては町の経済、財政が潤うのであれば、まさに一石二鳥です。

*プロフィール

- 昭和14年／西五百川・大船木生れ
- 昭和38年／上智大学卒業
- 現在、参議院内閣委員会調査員（防衛問題担当）
- 著書に「政治と軍事」、「現代の国際紛争」（いずれも共著）など

大雪や早魃などの自然現象から、人間が謙虚に生きるべきことを学びました。

たんぼで泥にまみれる親や村人の姿に、生活の重さと労働の尊さを見ました。友人たちとの遊びの中で、思いやりとか協力とかの大切さを教えられたのです。

根がしっかりとついているれば、幹も葉も花も実も立派なものになります。そうした意味で、ふるさとがどうなるかでこれから世に出る若人たちの将来をも左右し、同時に私たち都会に出た者の活力にも影響を与えます。

町に腰を据えた人も、都会に出た者も、共に知恵を出し、汗を流す中で、より良い「根」づくりにも励みたいものです。

県駅伝

寒河江・西村山チーム準優勝

●今野選手らの奮起で大きく飛躍

桜花咲き誇る四月二十七日から三日間にわたり展開された県駅伝で、寒河江・西村山チームは初日から順調な快走ぶりを見せ、残り二日間もよく健闘して総合準優勝という輝かしい栄誉を勝ち取りました。

中でも、五年ぶりに県駅伝に復帰した当町出身のベテラン今野幸昭選手の奮起

が、今回の大きな飛躍に結びついたことは見逃ができません。

来年はぜひトップの座を奪回すべくみんなで盛り上げたいものです。

△出場選手／今野幸昭（西町）佐藤吉範（大舟木）小林勝弥（大沼）菅井繁美（大隅）五十公野光博（西町）加藤正（常盤）

朝日川にヤマメ稚魚放流

*高齢者センター養魚部

わが町に高令者生産活動センターが設置されて三年目、各部活動も年々充実してきています。その中の養魚部（安藤利八会長・十五名）では四月十五日、昨年十月にふ化したヤマメの稚魚五千匹を朝日川に放流しました。

養魚部では、生産した十万匹のうち、第二回目の放流と合わせ全部で一万匹を



稚魚を放流する養魚部員たち



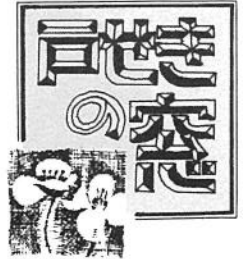
働くことに誇りを
☆鈴木 静子さん(西町)

町民の草と花

今春朝日分校を卒業しマイニットに就職したばかり。活気ある町をつくるためには「働くことに誇りを持つ」ことはもちろん、若い人の働く場をふやしたり、遊ぶ場所などをつくることも必要だと思います。

それから、産業がさかえることは良いことです。この町の美しい自然と調和のとれた発展を望みます。

(高校時代はブラスバンドと園芸をやった。草花が大好きというフレッシュさん)



●57年4月1日～4月30日届出

*出生

区名 出生者氏名父名 続柄
大沼 小林若菜 孝 二女
大暮山 阿部 聡 義太郎二男
太郎二 児珠 梓 宏一 長男
栗木沢 遠藤裕美子 寛 長女
沼向 菅井慎也 英逸 長男
大暮山 阿部 豊 孝 長男

*死亡

区名 死亡者氏名年齢世帯主
長沼 斎藤 喜博 84 聖司
大谷四 佐竹よしゑ 84 清七
大谷四 高橋幸一郎 87 一雄
川通 志藤きくの 85 金治
太郎二 長岡 とわ 85 初子
本町 布施きぬ江 74 實
前田沢 成原藤三郎 88 君子
常盤 阿部志けの 88 宗一郎

今平 阿部春美 菊男 二女
夏草 阿部恵実 秀一 長女
栗木沢 谷本直人 貴正 長男
小原 菅井 充 薫 二男
大町 富樫厚宙 要悦 長男
舟渡 遠藤彩子 憲一 長女

*婚姻

常盤 大谷四
長岡 善司 白田みち子
沼向 沼向
佐藤 透 長岡 順子
太郎二 米沢市
西船渡 高橋 智子
阿部 敏範 寒河江 清子
大谷七 沖津清子
村山 順一 大谷 準子
大江町 大谷三
富樫 稔 白田 俊代



5月21日～31日
家内労働旬間

道楽の家



善意の*かじ*

ふるさと公演の 収益を寄贈

五月二日の「ふるさと公演」を主催したふるさと公演実行委員会と東京朝日会では、町民のために役立てて、入場券の売上げ金から諸経費を差し引いた残り金額を次のとおり寄贈しました。

- 社会福祉協議会へ 十六万二千六百八十円
- 町育英会へ 十万円

福祉協議会などへ 現金寄贈

このほど次の方々から恵まれ

- ない方のためにと、社会福祉協議会へ現金が贈られました。
- 鈴木茂雄さん(助役・四ノ沢)から五万円
- 鈴木直子さん(大町)から三万円

また東京在住の阿部徳二郎さんから、「広報あさひ」の編集のために、広報委員会へ一万円が贈られました。

高校生ボランティア アガクリン作戦

四月二十五日、高校生ボランティア「アガクリン」とちっぽ(成原正志会長・会員二十名)では、役場から上郷ダムまで二キロにおよぶ国道沿いのクリーン作戦をくり広げました。

この日回収した空カンやビン、紙袋は、ゴミ袋でなんと七十個以上も。メンバーは、「美しい環境づくりは一人ひとりのモラルから」と強調していました。